

2022年度オンライン学校説明会 質問と回答（全4ページ）

※個人的なお問い合わせは、下表には載せていません。本校まで直接お問い合わせください。

	質問	回答
入試全般について	去年と大きく形式を変える予定は、ありますか。	推薦入試の出願資格が若干変わりました。①「2021年4月(中2)より国内中学校に在学」という条件を追加、②3年次だけではなく、2年次にも「2」以下の評定がないことを条件に追加、③欠席日数の条件を「3年次5日以内」、「2,3年次合計10日以内(昨年までは3年間で15日以内)」に変更。また、すべての入試で合格発表を一日早めました(試験翌日の20時発表)。
	昨年の入試から変更となる点は、ありますか。ある場合は変更となる内容を具体的に説明いただけると有り難く思います。	
	現在私立中学校に通っております。教科によっては一部高校の内容を学んでおりますが、調査書の内申点は公立中学校のものと同じ扱いになりますでしょうか。	どの中学校であっても、内申点の扱いは同じです。
	3教科のテストの時間は全て50分ですか	一般入試については、国・数・英それぞれ50分の試験です。推薦入試・帰国生入試の適性検査については、国・数・英の3教科を60分間で解いていただきます。3教科の時間配分は受験生に任せられています。
	昨年度の合格最低点はそれぞれ何点ですか？	一般入試に関しては、内申点を加味しているため、試験のみの合格最低点を出すことができません。推薦入試・帰国生入試の適性検査に関しては、問題も配点も非公表ですが、適性検査の得点だけではなく面接や書類審査も含めて総合的に判断しています。
	学校見学会に参加できず校内の立地が分からないのですが、試験当日は初めて来校する者でも解る様な案内になっていますか？ 入校開始時間から入試時間までがあまり余裕がないので迷わず会場に行けるか心配です。	駅からの案内・誘導などは特にありません。入試要項最終ページに詳しい地図が載っていますが、心配でしたら事前に下見をしていただければと思います(校舎内には入れませんが、いらしていただいた方には門衛よりスクールガイドの配布もしています https://www.agh.aoyama.ed.jp/admission/schoolguide.html)。
	推薦入試の合否判定の前に、一般入試の出願締切がありますが、推薦合格でも一般出願の取り消しは出来ないということですか？	出願の取り消しはできませんが、推薦入試または帰国生入試に合格し入学金を納付した場合には、入学手続きにお渡しする書類に従って、一般入試の入学検定料(手数料を除く)を返金いたします。
	推薦入試に落ちてしまった場合一般入試への加点はありますか？また、あるのならどのくらい加点になりますか？	加点はありません。一般入試において補欠となった場合は、優遇する場合があります。
	万が一コロナにかかった場合の救済措置はありますか？ 試験の時にコロナ感染した場合、追試などの対応はありますか？	現時点では、基本的に再試験は予定していません。当日に体調不良だった場合の対処につきましては、12月に本校ウェブサイトにて発表をします。
推薦入試について	例えば、推薦入試であれば合格者は男女の合計で上位70名ですか。それとも男女比が等しくなるように男子上位約35名、女子約35名の計70名ですか。	男女比がだいたい等しくなるようにしていますが、試験の得点等も考慮し、例年女子の合格者がやや多くなっています。過去の入試結果についてはウェブサイトをご覧ください。 https://www.agh.aoyama.ed.jp/admission/data.html
	他校と比較して推薦入試の募集人数と一般入試の募集人数の比率が推薦入試のほうが多い印象がありますが、その理由と、他校でもありますが、女子の基準が高いのはなぜでしょうか？	3つの入試制度それぞれに特徴があり(https://www.agh.aoyama.ed.jp/admission/index.html をご覧ください)、それぞれの良さを生かせるように、バランスを考えて募集人員を決めています。男女で推薦の出願資格に違いがあるのは、志願者数の違いによるものです。男女共学校としての良さを生かすために、最終的な入学者の数なるべく男女同じくらいにすることをめざしています。

推薦入試について	推薦入試の募集要項に記載のある、出願期間の「消印有効」とは、出願期間として指定されている期間全てにかかりますか。 期間前の消印で、出願期間の初日に到着する場合は受理していただけますか。	推薦入試の出願書類受付期間は1月15日～16日(締切日消印有効)となっています。インターネット出願サイトから受験票や宛名ラベルを印刷できるようになるのが1月15日の0:00なので、それよりも前に郵送することはできません。
	推薦試験において、60分で3教科という特色のある試験方法ですが事前提出である作文や調査書とどのくらいの割合で見るとでしょうか？	推薦入試では適性検査、面接、書類審査のいずれも大事です。それぞれの割合は公表していません。作文については、その内容によって直接合否が決まるわけではありませんが、総合的に合否を判断する中で、一つの要素として試しています。
	推薦入試は60分で3教科の問題を解くとのことですが問題数は一般入試と同じですか？	一般入試は各教科50分の試験です。推薦・帰国生入試の適性検査は、60分で3教科すべて解くことができるように考えられた問題数です。
	推薦のみ出願と推薦＋一般出願とで、合否判定にかかわることはありますか？	一般入試にも出願しているかどうか、推薦入試の合否に影響することはありません。
帰国生入試について	帰国生入試の必要書類の案内に「評価スケールを添付すること」とありましたが、具体的にこれはどのようなものでしょうか？	評価のスケールというのは、海外の現地校やインター校の成績について「1～7の7段階で7が最も良い」とか、「ABCDFの5段階評価で、Fは不合格」とような評価の基準がわかるもののことです。日本の中学校の成績評価(内申点)については、中学校が作成する調査書に記載されている数字で判断しますので、スケールは不要です。
	帰国生受験に、評価のスケールを添付とありますが、約2年前に帰国した為コロナ禍で5ヶ月近くオンライン授業でテストがなく、課題のみで成績がついた為、評価のスケールがはっきりわからない状態です。評価方は現在、学校には問い合わせしていますが、通常の授業とテストをした学年とは、差がつかますでしょうか。	
一般入試について	一般入試では各教科何割くらいを目安にすれば良いですか？	年度によって平均点などが異なりますし、内申点も加味しているので、具体的な数字はお答えできません。
	英語の音声は、日々の習慣とするのにどのような音源のものが適切ですか？	特定の音源を挙げることはできませんが、中学生にとってはスピードがやや早めです。
	出題される漢字のレベルを教えてください	中学3年生までに習う範囲から出題しています。
学習面について	聖書の勉強はどのようなことをするのか	聖書は一教科として位置づけられていますが、学問的領域にとどまらず、スクールモットーの「地の塩・世の光」が表す人間形成を目指し、この時代を生きることについて学びます。詳しい内容はウェブサイト「聖書 授業紹介」をご覧ください。 https://www.agh.aoyama.ed.jp/education/subjects/bible/class_intro01.html
	英語の授業でどのくらいクラスメイトと英語で話し合う機会があるのですか。	すべての英語の授業を通じて4技能5領域をバランスよく取り入れています。特に発話活動という点においては、ネイティブ教員による各種授業で活発に行われています。3年間を通じたネイティブ教員によるレベル別必修授業、2,3年次にはハイレベルな選択授業において、ペア・トークやグループ・ディスカッションなど実際に「英語を使う」場面を多く用意しています。
	入学前に行われる英語のクラス分けのテストが、どのような形式で行われるのか教えてください。	英語クラス分けテストは、約1時間のマークシート形式で行われます。リスニングを含む英語技能試験で、1年次のレベル別授業のクラスを判別するものとなっています。
	生徒一人ずつに配布されるクロームブックは家に持ち帰り、教科書の代わりとして使用することは可能ですか。	Chromebookは学校でまとめて注文し、購入していただけます。教科書の代わりにはならないかもしれませんが、毎日持ち帰って充電してくるよう指導していますので、家で使用することも可能です。

クラブ活動について	高校から入学した場合、経験がない部活には入部できますか。	ほぼすべてのクラブが、初心者の入部を受け付けています。
	五日制ということですが、部活で週末に試合はありますか。	どのクラブも、試合は土日に行われることが多いです。
	合宿は、テニス部以外には、何の部活がありますか。	例年、多くのクラブで合宿を実施しています。2022年度はコロナ禍で中止したクラブもありました。
	中学でソフトテニス部に所属しており、続けていきたいと思っています。ソフトテニスに男女の記載がありませんでしたが、男子も所属可能でしょうか。	ソフトテニス部は男女が一緒に活動しているクラブですので、男子生徒も所属できます。
	部活の体験、見学はありますか？(バスケ部)	申し訳ありませんが部活動を体験できる機会は設けていません。
	クラブ活動体験はないのでしょうか。硬式野球部のことをもう少し詳しく知りたいと考えています。	各クラブの部員数や活動日、活動内容などはウェブサイト https://www.agh.aoyama.ed.jp/school_life/club/index.html からご覧いただけます。
	中学校では、剣道部の部長をしていて、関東大会、全国大会に出場しました。フェンシング部も興味があります。兼部は可能ですか？ また、調査票に書いた、顕著な成績を残した部活に、必ず入らなければいけませんか？	本校には、以下の4種類のクラブがあります。①文科系クラブ ②体育系クラブ ③同好会 ④特設クラブ (クラブ一覧についてはウェブサイト https://www.agh.aoyama.ed.jp/school_life/club/index.html をご覧ください)。このうち、①、②の中で複数のクラブに入ることはできませんが、①(または②)と③や④を兼部することは可能です。 クラブ加入は義務ではありませんし、どのクラブに入るかということも自由です。
学校生活全般について	サッカー部の大会実績など知りたいです	各クラブの実績については、「生徒の表彰」のページをご覧ください。(都道府県レベルの大会で入賞以上のものを記載) https://www.agh.aoyama.ed.jp/school_life/activity/index.html
	部活で吹奏楽部はありますか？	ブラスバンド部があります。ウェブサイトの「クラブ・同好会一覧」をご覧ください。 https://www.agh.aoyama.ed.jp/school_life/club/index.html
	学校での委員会活動はありますか？ どのような活動があるのか知りたいです。	生徒会の組織と活動については、ウェブサイトの「生徒会とは」をご覧ください。 https://www.agh.aoyama.ed.jp/school_life/council_homerom/detail.html
	内部生と外部生は合流しますか？クラス編成は成績別ですか？	一般入試・推薦入試・帰国生入試および中等部からの内部進学による入学者が、ほぼ同じ比率で10クラスに分かれます。成績別のクラス編成ではありません。
	外部生と内部生の隔たりのようなものはありますか？	はじめはお互いに不安があると思いますが、5月初旬のホームルームデー(遠足)、6月のバレーボール大会などとおしてクラスの仲が深まり、隔たりを感じなくなると思います。
	オンライン説明会の映像の中に、お弁当を食べている写真と学食を買って食べている写真の両方が、それぞれ別の動画にあったのですが、それは同じ時間に、お弁当を食べている人もいれば、学食を食堂で食べている人もいるということですか。それとも、今はコロナ禍であるため、全員教室でお弁当を食べているのですか。	平常時について、お弁当を持参して教室で食べるのが基本ですが、補助的なものとしてカフェテリアや大学食堂も利用できます。 コロナ禍の現在は、教室での黙食が原則ですが、カフェテリアも人数やメニューを限定して営業しており、お弁当を用意できなかった場合などに利用することができます。(感染状況によって変わる場合があります)
	一年生でもカフェテリアを利用することはできますか。	カフェテリアは何年生でも利用できます。
	校則について具体的に知りたいです。	学校が生徒に対して課す校則ではなく、教師と生徒の合議によりつくられた「生活心得」があり、勉学にふさわしい落ち着いた雰囲気をつくるための約束事やマナーが記されています。その他、服装の規定(https://www.agh.aoyama.ed.jp/school_life/uniform.html)、アクセサリや過度の染髪をしないこと、電子機器使用のルールなどもあります。

学校生活全般 について	制服のスカートは購入する指定の店はあるかそれとも個人で買うか 指定の靴はありますか	スカート、ズボンについては、指定の店にも置いてありますが、規定にあったものであればどこのお店で 購入してもかまいません。 靴については、体育のシューズは指定のものを購入していただきますが、それ以外は指定のものはあ りません。
	男子のズボンは指定のもの以外は、だめですか。	体育着、ジャージ、体育用シューズは指定のものを購入していただきます。
	体育着やジャージは指定のものがありますか？	2023年度の短期交換留学やホームステイについて、再開する方向で検討していますが、確定はして いません。 1年間の長期留学制度は継続していて、2022年度も15人ほどの生徒が利用しています。
	短期でも海外留学したいのですが、来年度にはまた再開するでしょうか	
進学 について	大学にはどのような学部がありますか？	大学のウェブサイトをご覧ください。 https://www.aoyama.ac.jp/faculty/
	大学進学の際、希望する学部へ行けますか？成績基準などもありますか？	どの学部におすすめするかは、本人の希望を尊重しながら、在学中3年間の成績の総合評価、3年次の学 力テスト、適性、出席状況その他を考慮して決定します。希望者が多い学部では成績上位者が有利 になります。第一志望の学部におすすめされなかった場合は、第二志望以下の学部におすすめされます。
	大学に進学できない場合はどんな状況が考えられますか？	3年間の成績、3年次の学力テスト、出席状況その他について、基準を満たせば全員推薦されますが、 実際には、基準に届かず内部進学できない生徒もいます。
	第一志望の学部には大体何%くらいの生徒が進学できていますか？	年によって大きく違うので、具体的な数字はお答えできません。
	大学進学へ向けて、塾へ通っている生徒の割合を知りたいです。	学校として人数等は把握していません。内部進学の場合、学校の授業をしっかりと受けていれば成績 に大きな心配は不要ですので、通塾が必要というわけではありません。ただし、自らの学力向上のた めに、一部の生徒は塾などにも通っているようです。
	大学進学の参考のため定期テスト毎に順位等のお知らせはございますでしょうか。	順位や分布等はお知らせしていません。
	理工学部への、高校からの内部進学実績が例年、少ないようですが、成績等 のハードルが高いのでしょうか？希望者が少ないのでしょうか？	他学部と比べて特別にハードルが高いということはありません。理系の進路を選ぶ人が多くないた め、理工学部への進学者も少なくなっています。
	学の内部進学で主に文系が多いですが、理工系への内部進学が少ない理由 はなぜかをお伺いしたいと思いました。	
	難関校の進学率について	約85%の生徒が内部進学をするので、外部大学を受験する生徒は多くないですが、進学先については https://www.agh.aoyama.ed.jp/introduction/after_course.html をご覧ください。
	他大学を受験する場合は、青山学院大学の推薦は受けられないのでしょうか。	内部進学か外部進学かの最終決定は、3年生の11月ごろに行います。外部進学をする際には、その 出願が認められた時点で内部進学の権利を放棄することになります。
	他大学への進学について、そのほかに細かい条件等あれば知りたいです。	医歯薬系学部など、青山学院大学にない学部学科であれば推薦を受けることも可能です。また、指定 校推薦もあります(2022年度は慶應義塾大学、国際基督教大学、東京理科大学など)。
	海外の大学への進学とサポートはありますか？	海外の大学にも、例年若干名が進学しています。国内の他大学への進学と同様に、生徒たちは学年 の進路担当の教員やクラス担任への相談、面談、指導などを通じ、計画を立てていきます。